

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2023年 3月 31日

事業所名:ハイ・にこ・ポンpart2

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・個別活動や集団活動が出来る十分なスペースの確保が来ている。	はい:16 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:1	・継続してよりよい療育の環境設定に努めていく。
	2 職員の適切な配置	・利用人数に応じて必要な人員配置が来ている。 ・充実している。個別対応や一人ひとりに合わせて支援が来ている。	はい:19 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1	・適切な職員配置を継続し、より良い支援に努めていく。 ・面談等行い、保護者、職員と顔を合わせ話し合いの機会を増やす。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・文字やイラストを用いて視覚的に伝わるよう工夫をしている。コーナークッションや階段の滑り止め素材等を使用し、設備・整備をしている。 ・視覚支援を使用し、スケジュールの提示を行う。	はい:14 どちらともいえない:4 いいえ:1 わからない:2 ・急な階段があるので少し不安。	・階段手前に柵を設置し、職員が開閉を行い事故防止に努める。 ・その都度、安全に配慮し、必要な設備整備を行う。 ・視覚支援を用いて、個別の特性に合わせた支援を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃、消毒、加湿(次亜塩素酸水)を行っている。 ・毎日の清掃・消毒を徹底している。子どもの触れる物の消毒を徹底している。玩具や課題を随時整理し、清潔で快適な生活空間を確保している。	はい:18 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2 ・少し気になるが、子どもがたくさん遊んでいるので仕方ないと思う。	・毎日清掃、消毒、加湿に加え、食事後、おやつ後に清掃、除菌を行う。 ・子どもの触れる物や場所の消毒を徹底する。 ・活動スペース、用具の整理整頓を随時行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・児童発達支援管理責任者を中心に職員間での意見交換や情報共有を行っている。 ・定期的実施。職員間での意見交換が来ている。 ・会議や業務中に積極的に意見交換を行っている。		・継続して職員間で意見交換を積極的に行う。 ・話しやすい環境づくりに努め、PDCAサイクルにより常に業務改善に取り組む。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・現在実施していない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・内部研修の実施を行っている。 ・外部研修に関しては、ZOOM等オンラインを利用して参加している。		・職員の資質向上のため研修の機会を設け、内部研修、外部研修共に継続して行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの要望や障害児支援利用計画なども取り入れ、相互理解のもと必要と考えられる個別支援計画を作成している。 ・アセスメントから導き出された課題から、保護者の意見を組み込み作成している。 ・児童発達支援管理責任者のもと、職員間で意見交換をし計画の作成が出来ている。 	はい:19 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等で保護者とゆつくり話す時間を設け、ニーズを分析し個別支援計画の作成に努める。 ・職員間での意見交換を行い、よりよい計画の作成を行っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の状況に合わせて適時個別活動と集団活動を組み合わせている。 ・個別と集団の中で本人に必要なと思われる支援を計画の中に組み込んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に応じ、適宜個別活動集団活動を組み合わせて支援計画の作成を行い、状況に合わせた支援を実施する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が支援を理解、実施し具体的に記録を行っている。 ・具体的な支援内容を分かりやすく記載出来ている。 ・利用時の状況を把握する事で、計画の作成に反映させている。 	はい:19 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して有効かつ具体的な支援内容を分かりやすく計画に記載する。 ・職員が支援を理解し実施する。具体的な支援内容の記録を行っていく。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じて個々の計画に即した支援の実施をしている。 ・支援開始前に支援内容を職員間で共有し、それぞれの役割を確認する事で適切な支援を実施している。 ・職員間での情報共有に力を入れ、支援の質を向上させていきたい。 	はい:19 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の計画に即しているのか等を、定期的に職員間で話し合い、より良い適切な支援に繋がれるように努める。 ・職員間で支援内容を共有し、統一した支援を実施していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で話し合い、活動の立案を行っている。 ・意見を出し合いながら、より良い活動プログラムを立案し実施している。 ・季節行事等職員間で分担し、企画、実施している。 ・その都度反省点を踏まえプログラムの立案を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な角度から考察し職員全体で活動プログラムを立案し、より良い活動を実施していく。 ・PDCAサイクルによりその都度、振り返りを行い、反省点を踏まえプログラムの立案に繋げていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は個別療育が中心。土曜日や長期休みに関しては制作、ルール遊び等集団活動、また地域にて公園遊び、川遊び等行い、五感を刺激する機会を設けている。 ・個別に合わせてながら支援し、活動時間に合わせた内容を取り入れている。 ・子どもの細かな変化を見極め支援に繋げている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日、長期休暇に応じてきめ細やかな支援を行う為、子ども一人ひとりをよく観察し、必要に応じた対応を行っていく。 ・個別に合わせて支援を行い、活動内容や活動時間を検討する。 ・子どもの細かな変化を見逃さず、職員間で共有し保護者と連携を図りながら、発育・成長へ繋げる。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日々活動を創意工夫しながら活動を実施している。 ・月行事や季節に応じたプログラムを意識して実施している。 ・日々模索し、アプローチを変えている。 	はい:19 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1 <ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベント等、家で出来ない事をしてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、活動が固定化しないよう創意工夫を図り、支援する。子どもが意欲的に取り組める活動プログラムを検討する。 ・季節行事やイベント等、職員間で話し合いながらより良い活動を実施する。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に支援内容の確認と、個々の職員の具体的な役割を理解している。 ・必要に応じて役割分担を行う事が出来ている。 ・児童発達支援管理責任者を中心に全職員が積極的に連携を取り、支援内容や役割分担について周知徹底している。 ・支援内容と役割分担については、随時職員間で確認を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、職員間での支援内容や役割分担について確認を行い、円滑に支援を行えるよう徹底する。 ・必要に応じて臨機応変な対応を行う。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後、記録に細かく入力し、振り返りと気付いた点の情報共有が出来ている。 ・その都度職員で共有し、振り返りを行うことで支援内容の向上に努めている。 ・支援終了後だけでなく、小規模な施設の利点を生かし、その都度気付きや振り返りを行って記録している。また公休明けの職員も記録を読み支援に入る事を徹底している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・支援についての振り返りと気付いた点を細かく記録に記載し、支援内容の改善と向上に努める。 ・その都度、職員間での情報共有を徹底する。支援の内容を共有し、統一した支援を心掛ける。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて支援の見直しを行っている。 ・職員間での支援の共有も実施出来ている。 ・記録時間を意図的に設ける等意識して記録の入力に努めている。必要があれば支援の見直し、検証を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援に関して、正確な記録の徹底を行う。 ・必要に応じて見直しを行い、都度職員間での話し合いの場を持ち、継続的な支援の検証、改善を実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回モニタリングを行う。その際に計画の見直しをし、保護者に説明を行う。 ・個々に合わせてその都度モニタリングを実施している。 ・月に1回ケース会議を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、定期的にモニタリングを実施し、検証を行う。 ・計画を見直し、保護者に丁寧に説明を行う。 ・職員間でケース会議を行い、日々の支援の質的向上に繋げていく。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が参加して職員に内容を周知している。 ・必要があれば参画している。 ・サービス担当者会議で必要な情報提供を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者を中心として、サービス担当者会議に出席し、職員に内容を周知し、支援の向上に努める。 ・サービス担当者会議で必要な情報提供を行っている。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし。 		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし。 		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員を通じて情報の共有を行っている。 ・必要に応じて連携を取り情報共有出来ている。今後もこまめに連携を取り情報交換をしていきたい。 ・関係機関での支援者会議へ出席している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続して十分な情報共有に努める。 ・円滑な移行支援が行われるように、関係機関での支援者会議等に出席していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報の提供を行っている。 ・関係機関での支援者会議へ出席している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報提供を行っていく。 ・円滑な移行支援が行われるように、関係機関での支援者会議等に出席していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関との連携は常に行っている。研修に関しても必要に応じて受講するようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続して専門機関と連携を行い、研修の受講も積極的に行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関連により現在機会を持っていないが、地域の子どもと一緒に遊ぶ時間を定期的に設けている。 ・灘さくら祭りや夏祭り等の地域のイベントへ参加している。 	はい:10 どちらともいえない:1 いいえ:2 わからない:8	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況が落ち着けば、交流の機会を増やしていきたい。当事業所からも働きかけていけるよう努めていく。 ・学校や他デイサービスとの連携を行う際、 ・地域のイベント等への参加をしていきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で現在は行っていない。 ・今後、地域での活動も考えていきたい ・公園や事業所周辺で出会った地域住民の方とコミュニケーションを図っている。 ・事業所前での野菜販売等でコミュニケーションを図り地域貢献を行っている。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況が落ち着けば、積極的に地域住民に向けた交流の機会を行っていきたい。 ・地域住民の方と日々の挨拶等を通して、より良い関係性作りに努める。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時、契約時、計画立案時に説明を行っている。その際、利用者負担等の詳細も分かり易く伝えている。 ・児童発達支援管理責任者が中心となり、丁寧な説明を行っている。 		はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が保護者に計画を提示し、分かりやすい言葉で説明を行っている。 	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ計画を示しながら、具体的に分かりやすく支援内容を伝えていく。 ・面談等で計画についての取り組みについて丁寧に伝えていく。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の関係もあり、現在十分には行えていない。 	はい:13 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:5	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の特性、特徴で困る事や分からない部分も多いので相談していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員自身もペアレントトレーニング等についての研修に参加する事でスキルアップを図っていく。 ・コロナ禍の状況ではあるが、オンライン等を利用し、積極的に伝えていく機会を設けていきたい。 ・面談等で保護者とゆっくり話す時間を設ける。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用し、日々の様子を伝えると共に送迎時にも直接保護者に伝え、その際に自宅での様子等の聞き取りも行っている。 ・保護者とのコミュニケーションを大切にし、共通理解を徹底している。 	はい:20 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も連絡帳に日々の様子を記載し、送迎時に直接様子等を伝え、日々の共通理解を大切に支援していく。 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
目への説明責・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談には随時対応している。(送迎時、電話等) ・保護者との個別面談の機会を設けている。 	はい:19 どちらともいえない:0 いいえ:1 わからない:1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も面談等で保護者とゆっくり話す時間を設ける。 ・保護者からの相談に対して、適切な対応と必要な助言を行い、保護者に寄り添う支援を行う。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況で現在十分に実施出来ていないが、状況が落ち着けば行っていきたい。 	はい:3 どちらともいえない:3 いいえ:5 わからない:10 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦なので出来ないと思う。 ・コロナの影響があるので特に現在は求めている。 ・入所して間もない為不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況で現在十分に実施出来ていないが、状況が落ち着けば父母の会の活動支援や保護者会等を行っていきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情について契約時に説明している。 ・しっかりと原因を把握し、迅速な対応を心掛けている。次に繋げていけるよう周知している。 	はい:12 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:7 <ul style="list-style-type: none"> ・まだ事態が発生していない為、不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった場合には、原因を把握し、迅速かつ適切な対応を行う。次に繋げていけるよう周知していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・書面による伝達だけでなく、送迎時に顔を見ながら話をする事を心掛けている。 ・個々に合わせた対応を行っている。 ・連絡やお知らせがあればその都度別紙にてお伝えしている。 ・親密な関係作りが出来るよう配慮している。 	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や面談等、出来る限り顔を合わせて話す機会を増やしていく。 ・個々に合わせた対応を心掛けていく。 ・子どもや保護者との意思疎通を大切にし、互いの認識に齟齬のないように努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月のお便りにて活動や行事予定の案内等を適時行っている。 ・SNSを利用し、活動内容、様子等の掲載を行っている。	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	・継続してお便りやSNSに活動の様子や行事予定等を記載し、子どもや保護者へ発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・重要事項説明書以外にも独自で個人情報についての取り扱いに同意を頂いている。 ・管理を徹底している。 ・家族の同意を得ることなく、必要な範囲を超えた情報の取扱いは行っていない。	はい:21 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	・継続して個人情報の管理、取り扱いについて徹底して行っていく。 ・保護者に対して、個人情報の取扱いについて契約の際、同意書を含めた説明を行う。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを作成し、職員間での周知徹底を図っている。保護者に対しての周知は不十分。	はい:15 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:4	・継続して各種マニュアルの周知徹底を職員間で行っていく。 ・保護者に対して周知徹底できるようにする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・年に2回以上実施。出火想定、地震想定で行っている。避難の仕方や緊急時の対応等を明確にし、訓練を実施している。 ・保護者へ避難場所や引き渡し方法を伝えている。	はい:19 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	・年2回以上、避難訓練を実施する。災害時の職員や子どもの動きを想定して、訓練を行っていく。 ・子どもに向けた防災学習を実施し、災害時の対応や理解を深める時間をもつ。 ・保護者へ改めて避難場所や引き渡し方法を分かりやすく記載した文書を作成する。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・全職員対象に、年に1回以上実施。		・今後も年1回以上虐待防止研修を行う。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・該当者なし。最善の注意を払っていきたい。		・該当者はいないが、最善の注意を払い支援にあたっていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者からの聞き取りにて個別に対応している。また、可能な限りアレルギー結果の複写を頂いている。 ・アレルギーを持つ子ども、持たない子どもの席の距離を取る等工夫している。		・アレルギーを持つ子どものアレルギー表を作成し、職員が常に周知徹底できるように努める。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットにて、内容の検討が行えるよう工夫した独自の書式を作成している。		・定期的にヒヤリハット事例について、職員間で話し合いの機会を設け事故防止に努める。